

平成29年度 第2回 飛騨神岡高等学校  
地域連携による活力ある学校づくり推進協議会 議事要旨

日 時	平成29年10月19日(木) 10:00~12:00
場 所	飛騨神岡高校 ゼミナール室
出席者 (敬称略、 委員名は 50音順)	<p>(委員)</p> <p>上田 昌子 飛騨市役所企画部地域振興課 上葛 健介 社会福祉法人神東会 事務局長 小西 清明 飛騨市立山之村小中学校校長 菊田 昇司 北陸電力株式会社神岡営業所 所長 十松 昭英 飛騨市神岡振興事務所 所長 下出 尚弘 飛騨市教育委員会 学校教育課長 田口 由加子 NPO法人神岡・町づくりネットワークレールマウンテンバイク事務局 出井 裕樹 牛丸石油株式会社 代表取締役 山本 幸一 飛騨市教育長 湯之下 明宏 飛騨市役所企画部 部長 渡邊 登紀夫 飛騨市立神岡中学校 校長</p> <p>(高校側)</p> <p>高田 広彦 校長 谷脇 浩彦 教頭 野村 宏治 事務長 宮垣 雅巳 教務主任 中田 和美 進路指導主事 楯 幸司 推進担当 中村 英樹 担当</p>
議事概要	<p>1 生徒の実践報告(楽天IT学校・飛騨市小さな町づくり応募事業2017市民によるコンペ審査会)に対する質問・感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽天ITで難しいことは何か。 → はじめ古川へ来るお客さん像が想像できず、何を売り込めばよいのか分からなかった。</li> <li>・ 楽天IT、飛騨市小さな町づくりのコンペ審査会ともに実践的に関わっているところが素晴らしい。</li> <li>・ 楽天ITでどうやってこのプランを考え、女将さんを説得したのか? → プランをじっくり説明し検討をしていただいてOKをいただいた。</li> <li>・ 飛騨市小さな町づくりのコンペ審査会は、前回も今回も高校生の感想が素晴らしかった。</li> <li>・ 地域の活性化や資産の活用で大人が話しあっても行き詰っていることがたくさんあるので、高校生に関わって解決してほしい。</li> </ul> <p>2 協議・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手厚い教育支援に感心している。一方、教職員の負担が心配ですがどうですか。 → 子供と関わるのが好きで教員になったものが多いので、かえってやりがいをもってやっていると理解している。</li> <li>・ 放課後の支援講座は生徒の選択肢も広くなり素晴らしい取組だと思う。</li> <li>・ 進研模試のデジタルサービスを活用する生徒の数と、生徒の金銭的な負担はどれくら</li> </ul>

いか。

→ デジタルサービスは模擬試験受験者が無償で利用することができる。模試は希望者に受けさせており、進学を希望する各学年のC組の生徒の多くが受験する。

- ・ ロボット部、文芸部は学校の顔としてさらなる活躍を願っている。神岡中学校の生徒が陸上で全国大会優勝や東海大会2位、剣道でも東海大会出場など成績を残しているが、それらの部活が飛騨神岡高校にはない。中学生は部活で高校を選択することも多い。すぐに作ることは難しいのは理解できるが、飛騨神岡高校で継続的にできるようなことは検討できないか。

→ 本校に柔道部はないが、大会の出場を希望する場合は対応している。職員数が少なく現状では部活動の顧問の掛け持ちをしている職員もいる。難しい課題もあるができる範囲で対応したい。

- ・ インターンシップに関する検討について「長期にわたる企業実習より資格取得に向けた学習が大切」ということについてもう少し詳細な説明をお願いしたい。

→ 現在インターンシップは2日間ですが、もう少し長期間のデュアルシステムのような形態できないかという提案を受けた。しかし、専門高校であれば3年間で学ぶ専門教科を総合学科では2年間で学ぶ関係上、基礎基本や資格取得に時間を割いた方が良いのではないかという結論に達した。

- ・ (小中学校での内容を復習する) 学び直しは本来しなくてもいい方が理想だと思うが、中学校との連携はどうなっているか。

→ 連携中学とは教員の交流などで双方の現状を踏まえて課題を共有し対応している。学力支援は勉強ができないからやっているのではなく、2年次生で系列の学習に支障を来さないよう、スムーズに専門科目の学習に移行できるように始めたのがきっかけである。

- ・ 貴校が示されたとおり、学び直しや特別支援に特化しない方向でお願いしたい。
- ・ 東大宇宙線研究所の特に学生さんとの交流を続けて、できればさらに深い交流を進めてほしい。

- ・ 東大宇宙線研究所へお願いするだけでなく、高校生が出向いて行くようなことができないか。宙ドームがリニューアル予定で、食堂のメニューなども高校生に考えてもらうなど積極的に関わってほしい。

- ・ 魅力ある授業、毎時間の授業が一番大切。飛騨神の生徒に話を聞くと「少人数で分かるまで教えてくれることが魅力」だと答えてくれる。魅力ある授業が展開されている証拠である。飛騨神の生徒が吉城高校の文化祭をみて飛騨神も土日にやりたいと言っていた。年間の行事を見て再検討できないか。

- ・ 振興事務所で通学路の整備を進めているが、生徒たちに環境面などで提案していただければ対応できる部分もあるので言っていただきたい。

- ・ 昨年、長期のインターンシップについて提案させていただいたが、知識技能だけではなく社会人としてのコミュニケーションや対人関係の構築の勉強の場として提案させていただいた。

- ・ 企業展をぜひ実施していただきたい。商工会も協力する。

→ 神岡商工会議所青年部からも企業展のお話をいただいております、実施する方向で検討している。

- ・ 11月16日(木)に飛騨神サポーターの設立式典を開催し、来年4月から運用する。能勢高校の後援会長さんと校長先生にお越しいただいて船津座にて講演会を実施する。
- ・ 入学動機アンケートの結果をみると、中学校の担任の影響が非常に大きいことが分かる。先日は職員会議で飛騨神の良さを職員が生徒に伝えることを確認した。ハード面での制約はあるかもしれないがソフト面で協力してやっていきたい。